

令和7年度 各課取り組み一覧

資料1

■数値目標に関する取り組み

項目	目標項目		第3次策定時(R元)	目標値	R6	評価根拠	事業担当課	R7取り組み状況
1	食育に関心を持っている市民の割合	「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計	82.2%	90%以上	65.8%	R元：市民食育アンケート R5：食育アンケート（まるごとヘルシーフェスタ・健康教室） R6：市民食育アンケート	共通	・食育推進月間におけるポスターの掲示 ・食育ひろばのチラシ及びポスター掲示
							子育て支援課	・園だより・給食だよりによる保護者（市民）への食育啓発 ・保育所菜園活動、クッキングを通した食育への関心の向上
							こども家庭センター	・各種健診を通しての食育啓発
							健康づくり推進課	・「ながおかきょうの料理」の配信
							学校教育課	・栄養教諭・栄養職員等による視覚的資料を活用した食育啓発、食に関する指導の実施 ・学校（給食）だより（月1回）、ホームページ等による食育啓発 【各校にて実施】 ・給食試食会による保護者への食育啓発
2	朝食を食べている市民の割合	16歳以上の市民「ほぼ毎日」	87.7%	90%以上	83.2%	R元：市民食育アンケート R5：食育アンケート（まるごとヘルシーフェスタ・健康教室） R6：市民食育アンケート	子育て支援課	・園だより・給食だよりによる保護者（市民）への朝食喫食啓発
							こども家庭センター	・各種健診を通しての朝食喫食推進啓発
							学校教育課	・栄養教諭・栄養職員等による視覚的資料を活用した食育啓発 ・学校だより・ホームページ等による食育啓発 【各校にて実施】
							高齢介護課	・地域健康教室やフレイル予防教室における1日3食摂取することの重要性の説明
3	主食・主菜・副菜のそろった食事を1日2食以上食べている市民の割合		55.7%	58%以上	56.0%	R元：市民食育アンケート R5：食育アンケート（まるごとヘルシーフェスタ・健康教室） R6：市民食育アンケート	子育て支援課	・給食だよりによる保護者（市民）へのバランスの取れた食事の啓発、給食食材3大栄養素への関心の向上
							こども家庭センター	・各種健診等を通しての食事内容の改善啓発(乳幼児健診・教室、HelloBaby教室) ・食事バランスと朝食摂取の重要性に関する情報提供
							健康づくり推進課	・市政情報放映モニターによる啓発
							学校教育課	・児童や生徒が考案した栄養バランスの良いメニューの給食提供、感染対策を十分に講じた上で調理実習、実施事業の周知により食事バランスの啓発 【各校にて実施】
							高齢介護課	・地域健康教室やフレイル予防教室における、主に筋力維持のために必要な栄養素などに着目したバランスのよい食事についての説明
4	やせや肥満者の割合	3歳6か月児 肥満度±20%以上	肥満1.5% やせ0%	肥満3%未満 やせ1%未満	0.4% 0.1%	3歳6か月児健診	子育て支援課	・乳幼児の成長・発達に応じた食事の提供、栄養相談・指導
		小学校	肥満5.5% やせ2%	肥満3%未満 やせ1%未満	4.8% 0.5%	小学校身体測定結果	こども家庭センター	・3歳6か月児健診における幼児保護者への栄養相談・指導
		30歳代 女性 やせ （BMI 18.5未満）	21.4%	15%未満	23.7%	20・30歳代の健康診査	学校教育課	・学校身体測定による児童および保護者への栄養相談・指導 【各小・中学校にて実施】
		40～60歳代 肥満 （BMI 25以上）	男28.9% 女19.0%	男20%未満 女15%未満	30.3% 19.7%	国保特定健診 （40～60歳代）	健康づくり推進課	・特定保健指導
		75歳以上 低栄養傾向者 （BMI 20以下）	21.6%	22%未満	22.0%	長寿健診	高齢介護課	・低栄養予防事業の実施
							健康づくり推進課・ 高齢介護課	・高齢介護課と健康づくり推進課の栄養士が連携し、75歳以上低栄養傾向者の割合の減少を図るために、通いの場等でのフレイル予防として食事の講座・教室を継続実施
5	家族等と一緒に食事をとっている割合	ほぼ毎日	62.2%	70%以上	65.3%	R元：市民食育アンケート R5：食育アンケート（まるごとヘルシーフェスタ・健康教室） R6：市民食育アンケート	こども家庭センター	・各種健診・教室を通した家族や身近な人と食事をとることの楽しさや大切さの啓発
							健康づくり推進課・ 高齢介護課	・高齢単身者への共食（家族または地域）の啓発
		ほとんどない	5.2%	5%未満	6.9%		子育て支援課・ 学校教育課	・給食だより等による啓発

項目	目標項目		第3次策定時(R元)	目標値	R6	評価根拠	事業担当課	R7取り組み状況
6	食育ひろばへの参加者数	まるとヘルシーフェスタ参加者数	616人	700人以上	1093人 大人639人、小人454人	食育ひろば	農林振興課 子育て支援課 健康づくり推進課	・地元産野菜を地元業者より購入（クイズの景品なす300本） ・保育所児童の食にまつわる絵画掲示（公立保育所4園） ・「まるとヘルシーフェスタ」で「食育ひろば」を開催、各種団体等によるイベント開催（歯科医師会、乙訓保健所、京都済生会病院、明治安田生命相互会社、レザミ等） ・広報、市政モニター掲載実施
7	地元産農林産物の利用を心がけている人の割合		17.2%	30%以上	14.0%	R元：市民食育アンケート R5：食育アンケート（まるとヘルシーフェスタ・健康教室） R6：市民食育アンケート	農林振興課 子育て支援課 健康づくり推進課 高齢介護課 学校教育課	・市政モニター掲載（農業祭）、ホームページにて直売所情報の更新、広報誌で朝市情報掲載（毎月）、農業祭の開催支援 ・地産地消の推進として、給食で保育所・小学校・中学校への地元産野菜を納品（筍・なす・花菜他）。ふれあい朝市、食品スーパーにおける地元産野菜の販売 ・保育所給食での地元産野菜の使用 ・給食食材産地情報提供 ・「まるとヘルシーフェスタ」にて地元農家さんの栽培から出荷、調理方法等を学べる食育ひろばとして掲示。 ・各種健診を通して地元産野菜販売所プリント配布、市政情報放映モニター・ホームページによる情報発信等 ・「配食サービス利用にかかる見守り経費の扶助」「シルバー農園の貸し出し」の実施 ・小中学校給食での地元産野菜の使用 ・使用食材産地情報提供
8	次世代に地元特産品や行事食を伝えている人の割合		26.3%	30%以上	27.6%	R元：市民食育アンケート R5：食育アンケート（まるとヘルシーフェスタ・健康教室）R6：市民食育アンケート	農林振興課 子育て支援課 健康づくり推進課 学校教育課	・農業祭の開催支援(農産物直売会・品評会の開催) ・給食での地元産の利用やふれあい朝市、食品スーパーにおける地元産野菜の販売 ・本市特産物である花菜・ナス・筍の普及啓発はじめ生産技術の向上や新たな販路の創出、収益性の高い農業への転換、次代の担い手の育成 ・ベジ食べる講座として、市内保育所の3歳以上児を対象に花菜の摘み取り体験会を実施 ・令和6年度より京都食育先生登録（長岡京市在住1名） ※きょうと食いく先生、R7新規3名認定 ・保育所給食での地元産野菜の使用（筍・なす）。給食だよりにおける紹介 ・食育ひろばでの献立紹介、レシピの配布 ・小中学校給食での年間を通して地元産野菜の使用、毎日の献立や給食の様子、給食の取組等のホームページでの発信を通した、地域や家庭における学校給食や食育の取組への理解促進 【各校にて実施】

■食育全体に関する取り組み

食育全体に関する各課の取り組み	自治・共助推進室	・ガラシャ祭開催支援。各種団体等によるイベント開催。
	商工観光課	・ガラシャ祭における食育ブース出店支援。 ・商工会との調整等、必要に応じて可能な範囲で協力。
	生涯学習課	・指定管理者において、中央生涯学習センターの食工房を活用した事業の実施。 ・広く食工房の活用をPR。イベントの広報では、団体交流室で、チラシの配架等。